



2024年9月20日発行

編集・発行：中央教育研究所(株) 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-6

<https://www.chuoh-kyouiku.co.jp>



中土井鉄信の「地域一番の繁盛塾になるための最強法則」 vol.151

< 学習塾の仕事は、人を動かす仕事！ >

読者の皆さん、夏期講習、お疲れ様でした。素晴らしい夏期講習になったでしょうか。子どもたちは、夏期講習を経て、学習に対する考え方、生き方が少しは変わったでしょうか。

さて、「人を動かす」というと、皆さんは、どんなことを思い浮かべますか。部下を動かす、関係する人を動かす、そんなイメージを持つかもしれません。簡単に言えば、他人に影響を及ぼして、何かをさせるということだろうと思いますが、実は、学習塾は、まさに生徒を動かして、生徒の夢を実現させる仕事です。ですから、人を動かすということが、学習塾の本当の仕事なのです。このことをぜひ、理解してください。

人を動かす前提は、自分自身を動かすことにあります。ということで、今回は、人を動かす前提として、自分自身を動かすための心理的な側面について考えたいと思います。

対人関係における考え方の一つに、「視点取得」というものがあります。有名な実験がありますので、紹介します。以下のことをやってみてください。

自分のおでこに「E」の字を書いてみてください。

これは、「Eテスト」と呼ばれる実験で、自分のおでこに相手が「E」とわかるように書くか、自分が「E」と読めるように書くか、という実験です。他者の視点から書くなら前者しかありません。そうなのです。どのくらい他者視点で行動できるようになるか、そこが重要だということです。「視点取得」とは、他者の視点をどのくらい自分自身の中に取り入れられているかということです。「他者視点」で自然と行動できるようになれば、他人を動かしやすいくなるわけです。

他者を動かすためには、自分自身がどんな人間であれば良いと思いますか。

簡単に言えば、元気で明るい人と元気がなくて暗い人では、どちらが人を動かしやすいですか。もちろん、前者ですよね。このような人になるためには、充実した人生を送っているという実感があれば、元気で明るい人になれるそうですよね。ということで、人生を充実したものにするために、皆さんなら、どちらの感情を重視しますか。ポジティブな感情とネガティブな感情。

大体の人は、ポジティブな感情を重視すると考えたのではないのでしょうか。それでは、もう一つ質問です。ネガティブな感情は、人生を充実させるためには、必要ありませんか。

実は、ポジティブな感情だけでは、充実した人生にはなりません。ポジティブな感情とは、「喜び」、「感謝」、「安らぎ」、「好奇心」、「希望」、「誇り」、「愉快」、「鼓舞」、「畏敬」、「愛」のような感情のことです。ネガティブな感情とは、「怒り」、「罪悪感」、「困惑」、「軽蔑」、「恐れ」、「羞恥心」のような感情です。

実は、この二つの感情のバランスが、人生を充実したものにします。ですから、全面的にポジティブな感情だけを持つ必要はありません。ポジティブな感情とネガティブな感情が、どういう割合で感じられるかで幸福度が変わります。それを比率で表すと(ポジティブな感情：ネガティブな感情) 3：1の割合で人生を生活している時、最も幸福度が高い人生になるそうです。ポジティブな感情がネガティブな感情を上回る方が良いのですが、そうだからと言って10：1のようになってしまうと、底抜けの楽道家になってしまい、ポジティブな感情が人生にとって有害になってしまうのです。元気で明

中土井鉄信の「地域一番の繁盛塾になるための最強法則」 vol.151-2

るい人＝能天気な人ではないのです。ネガティブな感情をある程度持っている人こそ、他人の役に立つ元気で明るい人なのです。

次に、他人を動かす人は、やる気のある人かやる気のない人か、どちらだと思いますか。それは当然、前者だろうと皆さん思いますよね。その通りですが、いつでもやる気であるためには、努力が必要です。しかし、実際の生活では失敗をすることもあり、やる気がなくなってしまうこともあるものです。そんな時、どうしたらよいのか。ここで登場するのが、「学習性無力感」という考え方です。

「学習性無力感」とは、自分に起こった不幸な事態に対する説明を自分自身にした結果、やる気をなくし、無力感で満たされるという理論です。動物実験等で、何をやってもマイナスの結果を与えられた動物は、もう行動を起こさないというところから、「学習性無力感」と名付けられた理論ですが、実は、その続きがあつて、どう自分自身に説明するかによって、「学習性無力感」にならずに済むという理論なのです。

アメリカに住むセールスマンを対象にした実験で、セールスを断られたセールスマンが、営業に失敗したことをどういうスタイルで自分自身に説明したのか(言い聞かせたのか)で、どのくらい離職率に差があつたかを調べたのですが、楽観的な説明のスタイルと悲観的な説明のスタイルでは、離職率に2倍以上の差が出たのです。そして、業績的にも2倍以上の差があつたのです。当然ですが、楽観的なスタイルの方が良かったのです。

楽観的なスタイルの人は、悪い出来事があつた時は、「一時的なもの」、「その対象者に固有のもの」、「外部の事情によるもの」だと解釈したのです。失敗してもめげないように自分自身に説明することが、やる気を起こさせる元なのです。

以上の話をまとめましょう。自分自身を動かすために

は、他者の視点を取得し、自分の中にある感情をしっかり受け止め、悪い事態でも楽観的な説明のスタイルを自分自身に取ることです。感謝ばかりしていなくてもよいですし、たまにはネガティブな感情を持つことも人間です。失敗をすることもあります。失敗をした後は、楽観的な説明のスタイルで自分自身を勇気づけてください。まず、この心の構えこそ、人を動かす大前提なのです。

そうすれば、心に余裕が生まれ、人を動かしやすくなります。まず、自分自身の存在が、他人を動かしやすくなるあり方になるかどうか、ここを意識してみてください。2024年の後半戦、ぜひ、素晴らしい活動をするためにも、今一度、自分自身を振り返ってみてください。

【MBA 編集後記】

【9/29(日) 来季に向けた集客セミナー】

大阪&オンライン開催

JEC 学習塾経営セミナー

「地域に根差した集客設計図」

■中土井が司会&ファシリテーターを務めます！

=====

資本力のある大手塾に負けないために、
地域密着塾だけがでできる集客術があります。

=====

★講演★

○小学生集客「集客できる『小学部の設計方法』」

講師：柴山健太郎 氏(Freewill トータルエデュケーション株式会社 代表取締役)

○中学生集客「今こそ、会員制サービスの強みを最大化する」

講師：越智正明 氏(学習塾 集客加速術コンサルタント クローバー 代表)

○ショートセミナー

「合格できる高校部と大学受験生の進路面談のコツ」

「秋から成功に導く中3継続」

○パネルディスカッション、なんでも経営相談

★詳細&お申し込みはこちらから★

<https://kyoiku-saisei.com/JECseminar/>

数字でみる学習塾経営・業界のトレンド vol.115-1

8月28日に文科省から今年度の「学校基本調査」の速報が発表されました。

2023年度・2024年度の児童・生徒数の比較（人）

	2023年度	2024年度	増減
小学生	6,100,280	5,994,490	▲ 105,790
中学生	3,220,963	3,186,510	▲ 34,453
高校生	2,915,556	2,905,690	▲ 9,866
合計	12,236,799	12,086,690	▲ 150,109

昨23年度と今年度の小学校（義務教育学校含む）、中学校（義務、中等教育学校前期含む）、高校（中等後期を含み、通信制・高専を除く）の児童・生徒数を比較したものです。15万人減っています。

同調査の学年別の児童・生徒数から5年後（29年度）の小6生数と、5年後と8年後（32年度）の中3生数もほぼ正確に算出することができます。

5年後の小6・中3生数と8年後の中3生数（人）

	今年度	2029年度	2032年度
小6生数	1,036,250	942,499	—
中3生数	1,069,960	1,014,564	942,499

小6生は5年後の29年度、少なくとも93,751人減って94万2千人に（9.0%減）、中3生は5年後55,396人減って101万5千人に（5.2%減）、8年後の32年度は12万7千人減って94万2千人に（11.9%減）になってしまうことがわかります。

これらは「全国」のデータですので、都道府県別の8年後の中3生の減少率トップ5とボトム5もみておきましょう。

中3生減少率 TOP5

都道府県	今年度	2032年度	減少率
秋田県	7,009	5,298	▲ 24.4%
愛媛県	11,599	9,505	▲ 18.1%
岩手県	9,731	7,976	▲ 18.0%
三重県	15,683	12,891	▲ 17.8%
栃木県	16,835	13,862	▲ 17.7%

中3生減少率 BOTTOM5

都道府県	今年度	2032年度	減少率
沖縄県	16,620	16,086	▲ 3.2%
東京都	107,278	100,803	▲ 6.0%
福岡県	47,026	43,689	▲ 7.1%
熊本県	16,243	14,778	▲ 9.0%
神奈川県	75,447	68,599	▲ 9.1%

秋田県は現在のほぼ4分の3に、愛媛、岩手、三重、栃木も約2割減ることになります。

今年4月に実施された『全国学力・学習状況調査』の生徒用質問紙調査（中3生対象）にこんな質問がありました。

「放課後や週末に何をしてお過ごしが多いですか（複数選択）」

10個ある選択肢のうち「学習塾など学校や家以外の場所で勉強している」を選んだ秋田の生徒の割合は21.5%でした。

$$7,009 \times 0.215 = 1,507$$

現時点でさえ1,500人しか通塾していないのに、母集団が4分の3に減る32年度の通塾者数はどうなるのか…。

母集団の数が減れば通常、同時進行的に通塾率も下がっていくものです。

秋田県に限らず、少子化の進行が激しい地域では今の形の塾が成り立つかどうか。

言わずもがな、ですよ。

とはいえ、私は塾が消滅するとは考えておりません。

一定数以上の人口があれば今の形での塾も存続可能であろうし、人口の少なくなった地域であっても例えばオンラインなどを利用すれば「特異な塾」は十分成立すると思っています。

さらに、今の形の塾から脱皮して「新生教育産業」に転身できれば、存続どころか大発展も夢ではないと考えています。

余談になりますが8月末、北海道を中心にエネルギー産業を展開するオカモトホールディングスが、石川県の個別演習塾スタディハウスを買収したとの報道がありました。スタディハウスといえば金沢市周辺に20カ所前後の教場を抱える地域大手で、能登半島地震の折に大学共通テストを控えた高3生を、宿泊・食事・学習環境まで含めて一切

数字でみる学習塾経営・業界のトレンド vol.115-2

無料で受け入れたことでその名が知れたところですよ。

このオカモトを始めとしてここ数年、異業種の事業者が塾を買収する例が目立つようになりました。

例えば放送業界のTBSは23年6月にやる気スイッチGを買収しました。

また、美容業界のヤマノホールディングスは20年にマンツーマンアカデミーを、22年に東京ガイダンスを、23年に灯学舎を買収しています。

さらに不動産業のヒューリックは22年にリソー教育の筆頭株主に躍り出ています。

異業種の事業者がなにゆえわざわざ「衰退産業」の塾業界に手を出すのか？

彼らが塾を衰退産業とは捉えておらず、それどころか逆に、今後ますます発展が期待される「成長産業」と捉えているからだ！

と、私はそう思っています。

「5年先」「10年先」ではなく、「20年先」「30年先」を見据えているんですね。

さて、先のことは先のこととして、「今」のことも真剣に考えなければなりません。

この夏の集客には偏りがあったようです。

好調な塾があった一方で、極端に苦しかった塾もあったということですが、その違いが生まれる理由の1つに広報の違いがあったと思われます。

じゅけラボ予備校(株式会社エンライク)がこの5月～6月、中1生～中3生の保護者にこんな調査をしていますのでご紹介しましょう(「中学1年生の塾サービスに関する意識調査」ほか／有効回答数「現在、通塾している中1生の保護者98人、中2生の保護者100人、中3生の保護者133人」／プレスリリース8月27日～29日)。

ご覧のように「友人・知人の推薦」が圧倒していますね。

こんなことは皆さん、数字を見なくとも実感としてよくご存じのはずです。

では、皆さんは、「友人・知人に自塾を推薦してくれる方々」、煎じ詰めれば現塾生の保護者や卒塾生の保護者でしようが、彼らに対してどんなアプローチをしているんでしょう？

わが社は一生懸命やって塾生の成績を上げている！

わが社はこんなに合格実績を出している！

それでこと足りると思っているようでしたら、大間違いです。

大丈夫だとお考えのようでしたら、大間違いです。

ひと昔前、塾は「不安産業」と陰口をたたかれていました。週刊誌などが、このままではウチの子は高校に合格できないじゃないかという、保護者の不安をあおって客を集める商売だと決めつけていたわけです。

今はもうそんな陰口をたたかれることはなくなりました。

が、私は、「保護者が不安を感じているからこそ通塾させる」という点については、従前と全く同様だと思っています。

ならば、どうすればよいか…。

まずは保護者一人ひとりにお会いし、じっくりお話しして、保護者を「安心」させてあげてください。

時間はかかりますが、それが皆さんの塾を「最も信頼できる塾」に押し上げて、「最も信頼できる情報源としての友人・知人」を作り出す早道だろうと思います。

塾は教えるだけで成り立つビジネスではありません。

子どもと保護者とにどこまでも寄り添って、「安心」を売るビジネスです。

PS・コンサルティング・システム

小林 弘典

Q: 塾選びにおいて最も信頼できるとする情報源はどれですか？

	中1生保護者	中2生保護者	中3生保護者
友人・知人の推薦	38.8%	44.0%	49.6%
インターネットの評判・レビュー	24.5%	23.0%	23.3%
塾や予備校のWEB サイト	17.3%	17.0%	12.0%
塾や予備校のチラシ	3.1%	2.0%	2.3%
その他	0.0%	1.0%	0.0%
わからない	16.3%	13.0%	12.8%